

「廃校施設の利活用に向けた基本方針（案）」に寄せられた御意見と旭川市の考え方

○ 意見募集期間：令和7年1月22日（水）～令和7年2月25日（火）

○ 意見提出数：3件（個人3件）

※御意見につきましては、読みやすくするために、趣旨を損なわない範囲で要約・修正しています。

No.	寄せられた御意見	旭川市の考え方
1	廃校施設の利活用に際し、現在は施設一体での貸付け・売却を原則としているが、土地・建物の規模が大きく実際の利活用希望者のニーズとは乖離がある。建物・土地の規模が大きく、建物の大半は非木造であるため、多くの廃校施設では高額となる。断熱材や暖房設備の煙突部分等、多くの廃校施設においてアスベストが使用されている。新しい台場中学校の近い方がいい。エレベーター・エスカレーターを設置して欲しい。	御意見の内容につきましては関係部局と共有し、廃校施設の利活用促進等に向けた取組の参考とさせていただきます。
2	土地の利活用を促進するため、市が直接事業を実施して利用させる事も検討する。利活用（特に売却）の提案に迅速に対応出来るよう、国庫補助等も活用しつつ未測量の解消に努める。売却・貸付けの際には、露出した吹付けアスベスト等については、最低限、囲い込み又は封じ込めを行う事とする。ZEN大学旭川校の開学を目指す。旧北都中学校のエレベーター・エスカレーターを設置して欲しい。	御意見の内容につきましては関係部局と共有し、廃校施設の利活用促進等に向けた取組の参考とさせていただきます。
3	廃校となったスペースの活用について 私は旭川市北都中学校周辺のエリアで育ちましたので、この提案は北都中学校の利用を想定して書きました。 私の提案は、毎週の週末に同じ場所で毎週ローテーションで異なったイベントを開催し、集客効果でその周辺一帯に活気を取り戻し、新しいビジネスを呼び込んだり既存ビジネスの営業に貢献するというものです。継続的に開催するのは、「週末は何かイベントをやっている」という情報を市民	旧北都中学校の建物は新耐震基準（昭和56年6月以降の耐震基準）を満たしておらず、施設・設備の老朽化も相当進んでいるため、多数の方が利用する施設としての利活用は困難なものと考えておりますが、御意見の内容につきましては関係部局と共有し、廃校施設の利活用促進等に向けた取組の参考とさせていただきます。 なお、個別の廃校施設の利活用につきましては、地域の意向も踏まえつつ理解を得ながら進めてまいります。

No.	寄せられた御意見	旭川市の考え方
	の間に定着させることで、集客率を上げるためです。 旭川市は、高額は期待できないとは思いますが、イベントの出店者サイドから出店料を集めることで収入を得ることができます。 具体的なイベント内容は4種類で、第1，2，3，4週で毎月決まった週にローテーションします。そうすることで、開催者サイド（出品者、売り手）は予定が立てやすく、買い手の市民もスケジュールを覚えやすいと思います。開催期間は、冬の過酷な季節を除き、4月から11月までの8ヶ月間を想定します。 このコンセプトは、若い家族や単身若者はもちろん、障害のある方々、高齢者、道内在住の外国人など様々なバックグラウンドを持っている人たちがみんなが楽しめる「週末マーケット」です。外国には毎週の週末にマーケットが決まった場所で開かれている街が多く、外出が楽しみです。人口が少なく高齢者の比率が多い旭川市で、市民のニーズに合った「手作り感・地元愛」満載のマーケットイベントを開いて、あの外国のマーケット感覚をこの街で感じられたら楽しいと思いました。 《イベントの具体例》 <u>第1週：フリーマーケット</u> 校舎内の教室などを利用してお店のブースを設け、旭川市と周辺の市町村民は、事前予約で誰でも出店できるようにする。屋内なので雨天でも決行できる。車で気軽に来ることができるよう、校庭グラウンドを整備して駐車場として活用する。 <u>第2週：キッチンカー、食料品店フェスティバル</u> 校庭グラウンドスペースに、キッチンカーの出店を募集し、フェスティ	

No.	寄せられた御意見	旭川市の考え方
	バルをする。校舎内（体育館などの広いスペースが理想）には、お弁当屋さんや惣菜、パン、お菓子屋さん、またはコーヒー豆専門店、味噌・調味料店、道の駅的な地元の食品・お土産品など、火や水を使わないお店の出店を募集する。そのエリアにイートインスペースを設け、買ったものをその場で食べられるようにする。壁に掲示板を設置して、参加しているキッチンカー、出店者がお店の宣伝ポスターや案内、次回の出展者の予告ポスターなどを展示できるようにする。 <u>第3週：地元農家応援 野菜市</u> 中学校の校庭を来場者用の駐車場にすれば気軽に行きやすく、校舎内にブースを設けることで、売り手の農家さんはテントを持ってくる必要がない。校舎内を利用するので天気を気にせず開催できる。 <u>第4週：その他の販売応援・啓蒙活動</u> 旭川市民を大切に想い、人道的「他人への思いやり」支援ができる市として、旭川市の価値を高める活動で、市の経費削減が期待でき、月1回でローテーションに組み入れると、イベントの内容にバラエティが広がり、マンネリ化するリスクを減らせる。 ・パターン1：ウクライナ・政治避難民支援 ・パターン2：障害者応援 ・パターン3：メタボ市民、高齢者、車椅子利用者の運動不足を解消しよう会	